

World Para Athletics 公認 2018 ジャパンパラ陸上競技大会 開催要項

- 1 目的** 国際競技規則を適用したレベルの高い競技会を、競技団体と共に開催することによって、障がい者スポーツの認知度を上げ、並びに障がい者の広い社会参加を促進することによって、日本における陸上競技の競技力を向上させ、あわせて同競技の普及拡大を図り、活力ある共生社会の創造に繋げていくことを目的とする。
- 2 主催** 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会
- 3 共催** 一般社団法人日本パラ陸上競技連盟 NPO法人日本知的障がい者陸上競技連盟
一般社団法人日本聴覚障害者陸上競技協会
- 4 主管** 一般財団法人群馬陸上競技協会 群馬県障がい者陸上競技協会
- 5 後援** スポーツ庁 群馬県 前橋市 群馬県教育委員会 前橋市教育委員会 前橋商工会議所
公益財団法人日本スポーツ協会 公益財団法人日本オリンピック委員会 公益財団法人日本陸上競技連盟
一般財団法人全日本ろうあ連盟 認定特定非営利活動法人日本ブラインドマラソン協会 全国聾学校体育連盟
群馬県障害者スポーツ協会

6 JPSA オフィシャルパートナー

日本航空株式会社 JA共済連 TANAKA ホールディングス株式会社 東京ガス株式会社 中外製薬株式会社
三菱商事株式会社 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 三菱電機株式会社
サントリーホールディングス株式会社 大同生命保険株式会社 凸版印刷株式会社 株式会社モリサワ
トヨタ自動車株式会社 株式会社ゴールドウイン 東日本旅客鉄道株式会社 東京建物株式会社
株式会社大京 清水建設株式会社 味の素株式会社 野村ホールディングス株式会社
株式会社大和証券グループ本社 東京ガス協力企業会 全日本空輸株式会社
東京海上日動火災保険株式会社 野村不動産ホールディングス株式会社 株式会社みずほフィナンシャルグループ
三菱ケミカル株式会社 株式会社日清製粉グループ本社 イオン株式会社 パナソニック株式会社

7 JPSA オフィシャルサポーター

トラスコ中山株式会社 西濃シエンカー株式会社 カリフォルニア・レーズン協会 日野薬品株式会社
株式会社富士住建 株式会社グロリアソアーズ 株式会社 JTB コーポレートセールス 大塚製薬株式会社
株式会社福祉施設共済会 株式会社ティーガイア 株式会社コメ兵 住友金属鉱山株式会社

8 競技運営システム協力 マット株式会社

- 9 協力** 群馬県障がい者スポーツ指導者協議会

- 10 期日** 2018年7月6日(金) 開会式
2018年7月7日(土) 競技開始: 10時00分(17時終了予定)
2018年7月8日(日) 競技開始: 10時00分(17時終了予定)
(受付時間: 6日(金) 12:30~16:30、7日(土)・8日(日) 9:00~)

- 11 会場** 正田醤油スタジアム群馬(群馬県立敷島公園陸上競技場)
群馬県前橋市敷島町66番地 TEL:027-234-9338
受付場所: 正田醤油スタジアム群馬正面
(受付時間: 6日(金) 13:30~16:30、7日(土)・8日(日) 9:00~)

- 12 実施種目** 別紙「実施種目一覧表」による。ジュニアのオープン種目(100m・200m)も併せて実施する。
- 7日(土) 100m/400m/1500m/10000m /三段跳 /走高跳/砲丸投/円盤投/4×100mユニバーサルリレー/
4×100mリレー(T20)
- 8日(日) 200m/800m/5000m /走幅跳/やり投/こん棒投
- *トラック種目ではエントリー数により予選を実施する場合は、競技運営上、予選ラウンドと決勝ラウンドの時間が短くなる場合がある。また、複数種目に出場する場合は、競技時間が重なる場合もある。
- * 1500mにおいては、予選実施時は 7日(土)に予選、8日(日)に決勝を行なう。

13 参加資格・制限

次の(1)～(3)に示す条件を満たしている者、または(4)に該当する者、(5)については、ジュニア育成の観点からオープン種目として実施する。

- (1) 身体障害者手帳または療育手帳を所持している者。
- (2) 下記団体のいずれかに、平成30年度 登記・登録している者。
「日本パラ陸上競技連盟」「日本知的障がい者陸上競技連盟」「日本聴覚障害者陸上競技協会」
「全日本ろうあ連盟」「全国聾学校体育協会」「日本ブラインドマラソン協会」
- (3) 下記の競技会において別紙「標準記録一覧表」に示す記録に達している者(出場種目は標準記録に達している種目に限る)。
- | | | |
|---------|--|------------------------|
| ・平成29年度 | 2017ジャパンパラ陸上競技大会 | 第28回日本パラ陸上競技選手権大会 |
| | 第22回関東パラ陸上競技選手権大会 | 大分パラ陸上2017 |
| | 2017中国・四国パラ陸上競技大会 | 2017WPA公認日本ID陸上競技選手権大会 |
| | その他WPA公認大会 | |
| ・平成30年度 | その他WPA公認大会 | |
| | ・2018年4月1日以降の日本陸上競技連盟公認大会(主催陸上競技協会発行の記録証の写しを添付すること。) | |
- (4) (2)の登録団体より推薦があり、主催者が認めた者。(第17回全国障害者スポーツ大会で標準記録を突破した者については、登録団体の推薦を必要とする。)
- (5) 18歳以下のジュニア選手で、主催団体よりの推薦があった者については、100m、200mをオープン種目として実施する。ただし、申込書と誓約書は通常どおり記載し、期限内に提出すること。(参加費は無料とする)
- (6) 海外から参加の選手については、2018年3月31日現在で IPC Athletics ライセンス登録され、クラス分けマスターリストに掲載されている選手とする。

14 競技規則 2018 World Para Athletics(WPA)競技規則及び IAAF 競技規則(パラリンピック種目以外)、並びに本大会申合わせ事項により実施する。

※注)参加の拒否・棄権についてはWPA 競技規則 5条 3/IAAF 競技規則 142条の通りとする。

15 参加料 個人種目については1人1種目につき 2,000円とする。

リレーについては1チーム 3,000円とする(リレーは個人種目にエントリーしている選手で申し込むこと)。

※ 振込者名は選手本人名とし、多数の選手分を振込む場合等は、その旨を申込書に記載すること。

振込先口座:	みずほ銀行 小舟町支店(店番号 105) 普通口座 1285022
口座名義:	公益財団法人日本障がい者スポーツ協会ジャパパラ
フリガナ:	ザイ)ニホンショウガイシヤスポーツキョウカイジャパラグチ

16 申込方法 別添「申込書」、「誓約書」に必要事項を記載のうえ、参加料振込み証明書を添えて申し込むこと。

(1) 申込締切日 2018年6月10日(日)必着(参加決定通知 6月18日頃発送予定)

(2) 申込先 以下 Web サイトの「申込時注意事項」記載の各送付先に申し込むこと。

<http://www.jaaf.net/para/2018/index.html>

※参加料は必ず申込時に納入すること。締め切り日以降の申込みは一切受け付けない。また、一旦納入された参加料は、主催者の責による事由で大会を中止した場合以外、参加資格に満たない場合も含め、原

則として返金しない。

※「申込書」「誓約書」など必要書類が提出されていない場合や必要事項に記載がない場合、また、出場資格・制限などに該当しない場合は出場不可とする。

※ 出場の可否は、その通知を資格審査終了後に順次発送する。

17 クラス分け

本大会では肢体障がい、視覚障がいの国内クラス分けを実施する。

WPA国際クラス分け及びJPA国内クラス分けを受けた事のない選手、及び国内クラス分けステイタスReviewの選手で、本連クラス分け運営委員会から事前に指示された選手は、国内クラス分けを受けなくてはならない。

実施日、会場は以下の通り

<肢体障がい> 会場:正田醤油スタジアム群馬(群馬県立敷島公園陸上競技場)

7月6日(金)9:00(予定)～ 身体機能評価・技術評価

7月7日(土)～8日(日) 競技観察

<視覚障がい> 会場:群馬大学医学部刀城会館

7月6日(金)13:00(予定)～

また、国内クラス分け(肢体障がい)を受ける場合は、「JPAクラス分け診断書」と「クラス分け自己申告書」の提出が必要となる。

「JPAクラス分け診断書」は、JPAホームページ内のクラス分け運営委員会のページからダウンロード可能(<https://jaafd.org/>)。「クラス分け自己申告書」については、該当選手に別途送付する。

国内クラス分けの実施時間については、申し込み締め切り後に該当選手に別途通知する。

クラス分けに関する問い合わせについては、下記までメールください。

JPAクラス分け運営委員会 <mailto:jpa.classification@gmail.com>

18 ドーピング検査 (以下、JADA からの注意喚起文による)

- 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である。
- 本競技会参加者は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなす。
- 未成年者(20歳未満)については、ドーピング検査を含むドーピング・コントロール手続に対する親権者からの同意を所属競技団体へ別途提出しているもののみエントリーできる(同意書は日本パラ陸上競技連盟のホームページ<<医事委員会>>からダウンロードすることができる)。
*** 本同意書については一度提出した選手は再提出の必要はありません ***
- 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
- 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org>)にて確認すること。

19 表彰

男女別種目別に1位、2位、3位の選手にメダルを授与する。ただし、参加申込者が2名までの種目は1位のみ、3名の種目は2位までにメダルを授与する。オープン種目には、メダルは授与しない。

希望者に記録証を発行する。希望者は総合受付にて申し込むこと。(申し込みは当日限り)

競技中の観察でクラスに変更があった場合は、すべて参考記録とし、順位及び表彰の対象から除外する。

20 個人情報の取り扱いについて

主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、主催者が定める「個人情報保護取扱規程」に基づき取り扱う。

なお、取得した個人情報は大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、その他競技運営及び競技に必要な連絡等に利用する。

21 傷害保険への加入について

主催者において期間中(2018年7月6日～7月8日)の傷害保険に一括加入する(保険内容:死亡・後遺障害1,000万円、入院5,000円、通院3,000円)。これ以上の補償を望む場合には、各自で別途保険に加入すること。大会では、応急処置しかできないので、参加に当たっては、医師の診断を受けるなど、自己の責任において健康と安全については十分留意すること。

22 その他

- (1) 本大会は、World Para Athletics公認大会として実施する。
- (2) IPCライセンス登録及び国際クラス分けステータスがCまたはRの選手の記録はWorld Para Athletics公認記録となる。ただし、すべての選手を対象に、日本記録は公認される。
- (3) T11・F11クラスの競技者は、必ずガイドランナー、アシスタント(コーラー、エスコート)を申込み用紙に明記すること。T12・F12クラスの競技者は、必要に応じてガイドランナー、アシスタント(コーラー、エスコート)を申込み用紙に明記すること。
なお、当日のガイドランナーの変更については、**招集の1時間前**までに変更届けを提出すること。変更届けは日本パラ陸上競技連盟オフィシャルサイトに掲載する。
- (4) 本大会ではWorld Para Athletics公認大会であるのでWPA競技規則17条8/IAAF競技規則162条のとおり、**1回目の不正出発**で失格となることを充分理解しておくこと。
- (5) 本大会の成績は、国際大会派遣等に伴う選手の推薦資料の一部とする。
- (6) 競技会場の練習は下記の通りとする。

7月6日(金)	・前日受付 12:30～ (正田醤油スタジアム群馬:大会会場) ・補助競技場(トラック、跳躍および砲丸の使用可:投てき台固定装置は使用不可) ・練習時間帯 13:00～16:00(予定)
7日(土)・8日(日)	・トラック練習(補助競技場を使用すること) ・フィールド練習(補助競技場で跳躍および投てきの使用可:投てき台固定装置は使用不可)
- ※ その他、競技場使用については、クラス分け実施もあるので係員の指示に従うこと。
- (7) フィールド競技(走高跳を除く)で8人を超える競技者が競技を行う場合には各競技者は3回の試技が許される。その中で上位の有効な成績を得た競技者8人には、さらに3回の試技が許される。競技者が8人以下の場合には、各競技者に6回の試技が許される。
- (8) 5000m、10000m競走には制限タイムを設ける。5000mは男子25分以内、女子30分以内。10000mは50分以内。なお、競技中に制限タイムを超えた場合は、競走の途中であっても審判により競走を中断することがある。記録は途中棄権とする。この種目にエントリーする選手は、このことを充分承知してエントリーすること。
- (9) 競技に必要な用具および道具は各自で用意すること。(例:アイマスク・ヘルメット等)主催者は一切用意しない。
- (10) 競技者の衣類・レーサー等競技用具(ロゴ)について(詳細は別紙参照のこと)
WPA広告規程に準ずる(チーム名については、規程内の「国名」を適用する)。
車椅子レーサー等競技用具に関しては前輪を含むフレームと後輪に各1ロゴのみ、その他、義足等についてはWPA規則に準ずる。上記規程を逸脱した場合は規程違反となる。十分に注意すること。
- (11) 大会当日の昼食は各自で用意すること。
- (12) 宿泊を要する且つ、旅行者を使用する場合は下記宿泊関係担当(旅行者名)へ各自で問い合わせを行なうこと。
- (13) 荷物を送る場合は、**7月 6日(金)**のみを指定日とする。指定日以外に到着した荷物については、一切受け付けない。
輸送に関するお知らせは、参加決定通知書に同封する。

※	荷物の受け渡し及び預かり場所は、競技会場総合受付とする。
※	原則的に、各自の荷物は自己責任において管理すること。到着した荷物については、一時的に保管するが故障・

破損等については一切責任を負わない。

- ※ 未到着の荷物確認等は、各自が依頼した宅配業者と連絡を取ること。
- ※ 荷物の返送等については、各自で手配し手続きを行うこと。
- ※ 大会終了後の荷物の預かりはできない。

(14) 問い合わせは下記とするがすべてFAXによること。FAXの宛名は「2018JP陸上競技大会」とすること。

①競技関係（各自登録している団体へ問い合わせること）

日本パラ陸上競技連盟	FAX	06-6606-1638（担当：角正）
日本知的障がい者陸上競技連盟	FAX	0475-82-0179（担当：浅野）
日本聴覚障害者陸上競技協会	FAX	045-568-4781（担当：竹花）
日本ブラインドマラソン協会	FAX	03-3814-3229（担当：木之下）
②宿泊関係 株式会社グロリアツアーズ	FAX	03-6826-5535（担当：白坂）
③その他 日本障がい者スポーツ協会	FAX	03-5641-1213（担当：猪鼻）

本大会の申し込み要項は、日本障がい者スポーツ協会ホームページからダウンロードすることができます。